

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること(詳細は財団応募要項参照)

- (1) 対象国籍(要項参照)を有する者。
- (2) 申請時に工学部(2年生以上の者及び編入が決定している者)・工学研究科に在籍・入学が決定している私費留学生(在留資格「留学」)。
但し、進学予定者については申込時に合格を証明できる書類を提出できる者のみ対象。
- (3) 2026 年 10 月または 2027 年 4 月時点で在学期間が 1 年以上ある者。
- (4) 他の奨学金を受けていない者(総長特別奨学金受給者は申請可能、但し授業料免除申請不可)。
- (5) 学業・研究に支障のない日本語能力を有すること。
- (6) 年 6 回行われる財団の交流活動(主に東京で開催)に必ず参加できる者。
- (7) 応募時に日本に居住している者。

Sufficient Japanese ability which can conduct research and study in Japanese is required to apply.

2 奨学金及び期間

学部生:月額 18 万円、 大学院生:月額 20 万円

支給期間: 2 年間、ただし、採用時の正規課程の最短修了年限まで

3 応募方法と締切日

・申請希望者報告シート:7/28(火)までに国際交流係(eng-mon@grp.tohoku.ac.jp)にメール添付で提出し応募の承認を得ること。

・応募書類(応募の承認を得た後):

学部・大学院在学学生:8/17(月)

2026 年 10 月又は 2027 年 4 月新入学・編入学生:9/1(火)まで

に国際交流係(中央棟 3 階)に紙媒体で提出すること。

4 応募書類・・・各書類の記入例及び書き方をよく読んで書類を準備すること。

全ての提出書類は片面印刷とし、右上に「受付番号」を記入すること。

申請書各種様式は財団 HP からダウンロード可能 <http://www.sisf.or.jp>

- (1) 履歴書 1-2 (様式1、様式2、日本語で自筆)
- (2) エッセイ (様式3をコピーして 2 枚分、日本語で自筆)
- (3) 指導教員推薦書 (様式4、指導教員が記入、英文の場合は和訳を添付)
- (4) 評価書 (様式5、博士後期課程のみ、指導教員が記入、英文の場合は和訳添付)
- (5) 在学証明書 (新入生の場合は「※合格証明書(写)」)
※2026 年 10 月入学試験受験者は、9 月 2 日(水)合格発表後、合格通知書を 9 月 3 日(木)までに提出。
- (6) 成績証明書
 - ・募集要項【資料 I】「学業成績表の提出について」に従い、不足のないよう準備すること。
 - ・それぞれの成績証明書の左上に、様式1「履歴書-1」の「学歴」欄に該当する番号(1~7)を記入すること。
 - ・用紙サイズが異なる場合は縮小コピー等で A4 に合わせたものを添付すること。
 - ・母国の成績証明書は和訳、または英訳を添付すること。
- (7) 研究実績 (A4 サイズ 1 枚【資料 II】参照、PC 入力可、博士前期・後期課程のみ)
- (8) 研究計画書 (A4 サイズ 1 枚【資料 II】参照、PC 入力可、博士前期・後期課程のみ)
- (9) 民間奨学金申請時の心得(所定用紙)

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
私費留学奨学生 募集要項
(秋募集)

2026年10月期 私費留学奨学生

2027年 4月期 私費留学奨学生

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

- ・ 応募に必要な書類は当財団のホームページからダウンロードできます。

<https://www.sisf.or.jp>

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次の学生を対象に私費留学奨学生の秋募集を行います。

【募集対象】

- ・ 学部生（日本の大学に在籍し応募時に2年生以上の者及び編入が決定している者）
 - ・ 院 生（日本の大学院に在籍している者及び入学が決定している者）
- ※ 留年による最短修業年限超過者は対象外

【応募資格】

以下の条件をすべて満たしていることが必要です。（再応募可）

1. 日本国及び下記対象国以外の国籍を有していないこと
対象国
東南アジア諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、東ティモール）
南西アジア諸国（インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ）
2. 応募時に日本に居住していること
3. 在留資格「留学：college student」を有し、文部科学省所轄大学に在籍する私費留学生（短期大学生及び研究生を除く）
4. 他の機関から奨学金又はこれに類する金品、給与等を受給していないこと
（TA/RA の報酬及び貸与奨学金の受給は可）※
5. 私費による留学生であること（国費や公費、社費等による留学生は対象としない）
6. 学内の特別プログラム等で、使途自由な金銭を受給していないこと ※
7. 日本で就業している親がいないこと
8. 「博士」の学位を取得していないこと
9. 奨学金受給開始後の課程修学期間が1年以上であること
10. 学業・研究に支障のない日本語能力を有すること
11. 異文化交流及び社会貢献に高い関心があること
12. 当財団の交流会に出席すること（年6回、主に東京で開催）
13. 奨学支援期間終了後も当財団の卒業生として積極的に交流する意思があること
※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。

【奨学金】

1. 支給額 学部生 月額 18万円
 院 生 月額 20万円
2. 支給期間 2年間
 - ・ 2026年10月期私費留学奨学生：2026年10月から2028年9月まで
 - ・ 2027年4月期私費留学奨学生：2027年4月から2029年3月まで
 - ・ 2年以内に標準修業年限が終了する場合は、その年限までとする。
 - ・ 標準修業年限が2年を超える場合
 - 学部生 財団採用時において標準修業年限までの期間が2年を超え3年に満たないときに限り、標準修業年限まで支給する。
 - 博士課程 財団在籍中に選考委員会による延長審査を行う。審査に合格した場合には、支給期間を延長し、標準修業年限まで支給する。審査に不合格の場合には、支給期間は延長しない。延長審査は、財団が採用したときから約18ヶ月後に開催する選考委員会で行い、日時、方法、提出資料等は事前に通知する。
3. 支給方法 2ヶ月に一度、2ヶ月分を本人名義の口座に振込

4. その他の支援制度（奨学金以外に下記の補助があります）

- ・ 授業料等補助金：半期 50 万円まで（繰越し不可）
 - ・ 学会出席補助金（院生対象）：年間 20 万円を上限（繰越し可）
- ※ 但し、在籍期間が一年に満たないときは、その半額を年間限度額とする。

【募集人数】 15 名程度

【応募書類】※ 書類不備の場合は応募を受け付けません。

- ・ 2026 年 10 月に在籍する大学・学年を記入してください。
- ・ 2027 年 4 月に進学が決定している学生のみ、2027 年 4 月時点の学年を記入してください。
- ・ 提出書類様式 1～3 は黒のボールペンで自筆（ひらがな可）にてしっかりと記入してください。
- ・ 成績証明書、研究計画書等を含むすべての提出書類の右上に「受付番号」を記入してください。
- ・ 合格者には応募書類原本を提出してもらいます。結果発表まで原本を保管してください。
- ・ 一貫制の博士課程は、最初の 2 年を修士課程、3 年以降を博士課程とみなします。
- ・ 新編入・新入の学生は、合格証明書もしくは合格通知書が添付できない場合、応募できません。
- ・ 当財団奨学生経験者には、エッセイテーマを別に設けています。当財団ホームページ「奨学生のページ」から再応募用の様式をダウンロードしてください。

○：必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
履歴書 1	様式 1	○	○	○	日本語 自筆
履歴書 2	様式 2	○	○	○	
エッセイ	様式 3	○	○	○	日本語 自筆（所定用紙 A4 2 枚）
指導教員推薦書	様式 4	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦状は一通とします。 ・ 指導教員未定の場合は、その他の教員又は身元保証人等によることも可 ・ 英文の場合は、日本語訳を添付
評価書	様式 5	—	—	○	
学業成績表		○	○	○	資料 I 参照
研究実績	A4	—	○	○	日本語 PC 入力可 資料 II 参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 PC 入力可 資料 II 参照 1 枚
在学証明書 (合格証明書)		○	○	○	新入の場合は入学予定大学の「合格証明書」もしくは「合格通知書」

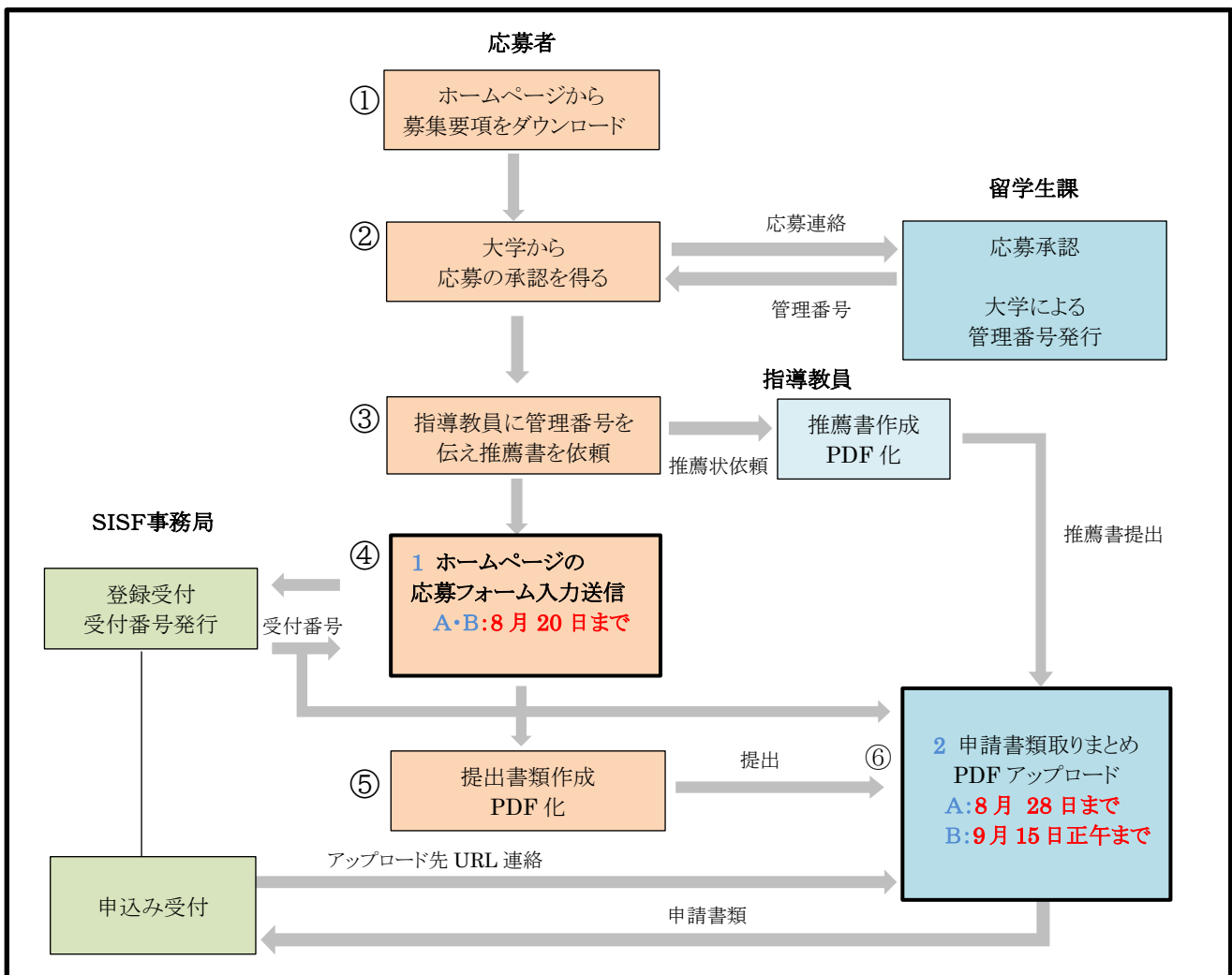
【応募締切】 締切は、下記のAとB二通りありますのでご注意ください。

A：応募時に学部2年生以上の学生 B：2026年10月又は2027年4月に入学・編入学の学生

- 1 ホームページ応募受付締切 A・B：2026年8月20日
応募者は締切日までに当財団ホームページ応募フォームに必要事項を入力・送信すること。
受付締切後、すみやかにPDF書類の送付先URLを留学生課に通知します。
- 2 書類アップロード締切 A：2026年8月28日 B：2026年9月15日正午
大学の留学生課は締切日までに提出書類を取りまとめてアップロードください。

【応募方法と応募の流れ】 応募に関するFAQは当財団のホームページに掲載しています。

- ① ホームページから募集要項をダウンロード
- ② 進学先大学の留学生課から応募の承諾を得て管理番号を取得
進学先大学による手続きが不可能な場合は、2026年7月時点の在籍校（日本国内に限る）を窓口としての応募も可
- ③ 指導教員に管理番号を伝え推薦書を依頼
- ④ ホームページの応募フォームに必要事項を入力し「受付番号」を取得
- ⑤ 提出書類を作成し、以下の設定でスキャンしPDF化
解像度：300dpi 履歴書1はカラー、その他のページは白黒
- ⑥ 留学生課にて提出書類を取りまとめアップロード
PDF化した後、ファイルが明瞭に判読できることを確認の上、送信してください。
書類が読み取りにくい場合、選考に不利になることがあります。



【選考及び結果発表】

- 一次 書面選考 選考結果は 11 月 5 日までに、当財団ホームページ（日本語）にて、合格者番号を発表
一次選考合格者及び申請窓口大学には、二次選考日時等について連絡します。
- 二次 面接選考 2026 年 11 月 14 日又は 11 月 15 日
面接はオンラインにて日本語で実施。面接時には必ず日本にいること
- 二次 合格発表 選考結果は 11 月 20 日までに、当財団ホームページ（日本語）にて、合格者番号を発表
合格者及び申請窓口大学には、合格について連絡します。
- ※合格した学生は、認証式（12 月 12 日 東京で開催予定）への出席が必須です。

【留意事項】

- ・ 当財団では、奨学生として守るべき「奨学生規則」を定めています。この規則に違反した場合、奨学金の停止や奨学生資格を失うことがあります。事前にホームページで「奨学生規則」を確認し、よく理解したうえで応募してください。
- ・ 他の奨学金の採用が決定した場合、大学を通じて当財団へすみやかに連絡をお願いします。

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし、奨学金受給状況確認のため「合格者一覧」を大学及び他の奨学団体に提供することがあります。

【問い合わせ先】

公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワーN
TEL 03-6435-3388
URL <https://www.sisf.or.jp>
E-mail sisf@sato-global.com

【私費留学奨学生採用実績国】

当財団は ASEAN 及び南西アジア 18 ヶ国から日本に留学する私費留学生を支援しています。これまでに延 718 名を支援し、その内訳は次の通りです。

ベトナム	139	マレーシア	134	インドネシア	131
タイ	71	バングラデシュ	46	スリランカ	35
カンボジア	33	インド	29	ラオス	23
ネパール	22	ミャンマー	23	フィリピン	15
シンガポール	8	パキスタン	7	ブータン	2

(1996 年設立時～2026 年 5 月現在)

学業成績表の提出について

- ・ 下表該当欄の学業成績表を提出してください。
- ・ 日本で発行される学業成績表は原本を提出してください。
- ・ 母国で発行された学業成績表には必ず「和訳」又は「英訳」の成績表を添付してください。
 翻訳成績表には必ず証明印(サイン)をつけること。翻訳成績表添付の場合、母国語の成績表は不要
- ・ 指示のない資格証明書や賞状は添付しないでください。

2026 年 10 月 在籍 (進学) 課程 (2027 年 4 月進学及び編入する場合は 2027 年 4 月時の学年として読み替えてください)	下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部学生 ※ (応募時に 2 年生以上であること)	学業成績表	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高校在籍期間中全ての学業成績表</u> ・ <u>在籍大学の直近まで全ての学業成績表</u> ・ 日本語学校に通っていた場合、その成績表
	日本留学試験成績確認書 (コピー可)	日本留学試験成績確認書がない場合は、様式 1「提出資料の有無(日本留学試験に関する証明書)」欄の無に○印
大学院生 ※ (修士・博士)	学業成績表	<u>学部1年から直近まで全ての学業成績表</u>

※ 高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出してください。

【学業成績表への記入項目】 ※用紙の向きにご注意ください。

① 該当期

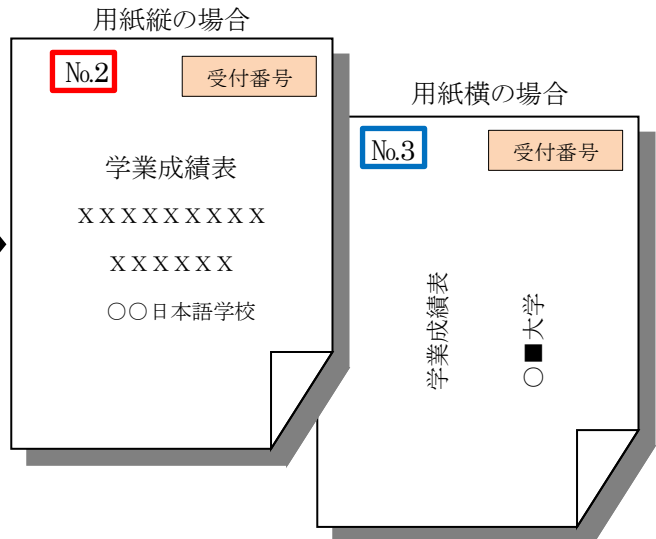
提出する学業成績表が、様式1「学歴」欄に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表の左上にNo.を記入し、番号順に提出してください。

② 受付番号

当財団から通知された受付番号を右上に記入してください。

【記入例】

No.	期 間	学校名
1	2012 年 10 月から 2015 年 9 月まで	○○高校
2	2015 年 10 月から 2016 年 9 月まで	○○日本語学校
3	2016 年 10 月から 2020 年 9 月まで	○■大学



「研究実績」及び「研究計画書」の書き方について

「研究実績」及び「研究計画書」は、それぞれに「名前」、「受付番号」を右上に記入して提出ください。

■研究実績

- ・ 下記①～⑥に該当するものを書いてください。(何件書いても可)

①公刊論文 (レフリー付・レフリーなし)	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
②学術論文	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
③学術発表(国内)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
④学術発表(海外)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
⑤著書	題名／発表者(全員)／出版元／出版年等
⑥卒論及び修士論文のテーマ	実績がない人は、「なし」と記載して下さい(例: 修士論文なし)

※論文コード(DOI)がある場合は記載ください。

(研究実績を作成するにあたり)

- ・ 日本語、A4 サイズ(ワープロ可)
- ・ 公刊論文、学術論文、学術発表、著書、その他の分類別・年代の新しい順に記入。
- ・ 著者又は発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順通りに書き、自分の名前には下線を引いてください。口頭発表は、発表者に*を付記してください(例:*佐藤)
- ・ 公刊論文や学術発表のサマリーは添付不要。
- ・ 博士号の取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に「博士号取得要件」と明記。
- ・ ①公刊論文(レフリー付)で査読中の場合は、その旨を明記してください。
- ・ 修士に進学する学生で研究実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリー(A4、1枚以内に必ずまとめて下さい)も可とします。それでも実績が無い場合は、履歴書-1(様式 1)の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に○をつけてください。

■研究計画書

- ・ 日本語で、研究テーマと研究要旨を含め A4 用紙 1 枚にまとめてください。(ワープロ可、図表使用可)
- ・ 専攻、研究テーマは、専門外の人にも理解できるよう、わかりやすく書いてください。

受付番号

履歴書-1

名前 カタカナ					パスポート記載の性別				
国籍					生年月日 (yyyy/mm/dd)				
大学・大学院	大学		学部	年	修士	年	博士		年
	学部・研究科						学科・専攻		
	研究室名:				指導教員名:				
提出書類の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書 有 ・ 無				(大学院生) 研究実績 有 ・ 無				
学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地(国・都市名)		専攻科目	経歴	成績表
	1	年 月から 年 月まで	高校					卒業・中退	有・無
	2	年 月から 年 月まで		学・修 博・他				編入・入学 卒業・中退	有・無
	3	年 月から 年 月まで		学・修 博・他				編入・入学 卒業・中退	有・無
	4	年 月から 年 月まで		学・修 博・他				編入・入学 卒業・中退	有・無
	5	年 月から 年 月まで		学・修 博・他				編入・入学 卒業・中退	有・無
	6	年 月から 年 月まで		学・修 博・他				編入・入学 卒業・中退	有・無
成績表「無」に○をつけた場合は、左側のNo.とともに添付できない理由を記入。また、「中退」もしくは「休学」の場合も、理由を記入									
職歴 (アルバイト 不要)	期 間	勤務先		所在地(国・都市名)		職務内容		在籍状況	
	年 月から 年 月まで							在籍・休職・退職	
	年 月から 年 月まで							在籍・休職・退職	
資格・免許	受 賞 歴	学内で所属する教育プログラム							
		なし・あり プログラム名				期間 年 月 ~ 年 月			
語学力 (語学資格含)						過去の日本在住経験			
日本語 ※ 取得した語学資格や日本語への取り組みを記入				英語					
				その他の言語					
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に) ※					あなたの人間的な魅力が伝わる自己 PR ※				
推薦状を依頼した方との「関係」と、その「理由」※									

写真貼付(カラー)

(3ヶ月以内に撮影したもの)

4.5×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入

【記入の注意点】

- ※は記入必須
- 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4サイズ)記入し、あわせて提出すること
- 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること
- 「国際交流、社会貢献活動の経験」、「あなたの人間的な魅力が伝わる自己 PR」の書く欄が足りない場合は別紙(A4サイズ)記入可
- 成績表添付の有無については、提出義務のない場合は印不要(大学院生は、高校の成績表の提出は不要)

記入例

受付番号

A002

履歴書-1

名前 カタカナ	サトウ イチロウ			パスポート記載の性別	M			
国籍	タイ			生年月日 (yyyy/mm/dd)	2001/10/1			
大学・ 大学院	●●大学	学部	年	修士	年	博士	1 年	
	●●	学部・研究科	学科・専攻					
研究室名:	●△研究室		指導教員名:			佐藤 花子		
提出書類 の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書 有 ・ 無			(大学院生) 研究実績 有 ・ 無				
学 歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地(国・都市名)	専攻科目	経歴	成績表
	1	2013 年 9 月から 2016 年 6 月まで	〇〇高校		タイ・バンコク		卒業・中退	有・無
	2	2016 年 9 月から 2017 年 3 月まで	〇▲大学	①・修 博・他	タイ・バンコク	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
	3	2017 年 4 月から 2018 年 3 月まで	〇〇日本語学校	学・修 博・他	日本・静岡		編入・入学 卒業・中退	有・無
	4	2018 年 4 月から 2022 年 3 月まで	〇〇大学	①・修 博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
	5	2024 年 4 月から 2026 年 3 月まで	〇〇大学大学院	学・修 博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
	6	2026 年 4 月から 年 月まで	〇〇大学大学院	①・修 博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
成績表「無」に○をつけた場合は、左側のNo.とともに添付できない理由を記入。また、「中退」もしくは「休学」の場合も、理由を記入 日本へ留学することにしたため。								
職 歴 (アルバイト 不要)	期 間	勤務先	所在地(国・都市名)	職務内容	在籍状況			
	2022 年 4 月から 2024 年 3 月まで	〇〇工業	日本・横浜	鉄道部品製造	在籍・休職・退職			
資 格 ・ 免 許	日商簿記 3 級 (2023 年 11 月)	受賞歴	〇〇大学弁論大会 2 位 (2020 年 12 月)	学内で所属する教育プログラム なし・あり プログラム名 〇〇YLP ヤングリーダーズプログラム 期間 2024 年 4 月 ~2029 年 3 月				
	語学力 (語学資格含)			過去の日本在住経験				
日本語 ※ 取得した語学資格や日本語への取り組みを書いてください。 日本語能力試験 N1 合格 (2021 年 7 月)			英語 TOEIC 840 点/990 点 (2024 年 6 月) その他の言語	2004~2006 年の 2 年間親の 海外赴任のため静岡に暮らし ていました。				
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に) ※			あなたの人間的な魅力が伝わる自己 PR ※					
病院での日本語通訳者ボランティアを行った。(2024.4~2025.3) 〇〇交流活動で××担当の役割を担っている。(2025.3~現在)			・中学生の頃よりブラスバンド部に所属し、中高とリーダーとしてメンバーを引っ張ってきた。現在も大学の吹奏楽部のメンバーとしてオーボエを続けている。					
推薦状を依頼した方との「関係」と、その「理由」※								
学部・修士論文の指導教員で、自分の学業・生活面を最も知っている方					提出した書類に○			

【記入の注意点】

- ※は記入必須
- 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途 (A4 サイズ) 記入し、あわせて提出すること
- 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること
- 「国際交流、社会貢献活動の経験」、「あなたの人間的な魅力が伝わる自己 PR」の書く欄が足りない場合は別紙 (A4 サイズ) 記入可
- 成績表添付の有無については、提出義務のない場合は印不要 (大学院生は、高校の成績表の提出は不要)

受付番号

履歴書-2

氏名(カタカナ): _____

・「家族」全員を記入。「日本居住の親戚(おじ・おば・いとこ)」も記入 当財団の奨学生であった家族・親戚は、この欄に○を記入

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名 ※	当財団奨学生経験	
	父						
	母						
	兄弟姉妹						
	配偶者						
	子						
※配偶者が学生の場合は、記入必須。 ①大学・学部学科・研究科専攻() ②課程() ③学年(年) ④入学年月(年 月) ⑤卒業予定年月(年 月)							
経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無		年額	円	
		アルバイト等収入	仕事内容		月額	円	
	配偶者の収入	所属先() ・ 仕事内容()			月額	円	
		奨学金名称() ・ 受給期間(年 月 ~ 年 月)			月額	円	
住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他()		一人住まい ・ ()人住まい	自己負担月額	円		
奨学金	現在受給中		奨学金名称:				
			期間: 年 月 ~ 年 月	受給月額:	円		
	受給履歴	年	期間	奨学金名称		受給総額(年)	
		2026年	年 月 ~ 年 月			円	
		2025年	年 月 ~ 年 月			円	
2024年		年 月 ~ 年 月			円		
2023年	年 月 ~ 年 月			円			
年間授業料	現在	円	授業料免除	・受けている(下記に記入) ・受けていない			
			免除期間	年 月 ~ 年 月			
			免除総額	上記期間中の総額を記入 円			
	2026年10月 または 2027年4月以降	円	授業料免除制度	・あり ・なし ・分からない			
			授業料免除申請	・申請する ・申請しない ・未定			
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に経済的支援を受けている場合は下欄に記入(自由記入)							
(例)○○大学留学生助成金:年額54万円							
併願状況 (奨学金に類するもの全て)	申請先				結果発表月日		
					年 月発表		
					年 月発表		
				年 月発表			

・ 国費外国人留学生を延長申請している場合も併願状況に記入すること。

履歴書-2

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

・「家族」全員を記入。「日本居住の親戚(おじ・おば・いとこ)」も記入 当財団の奨学生であった家族・親戚は、この欄に○を記入

家庭状況	氏名		国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名 ※	当財団奨学生経験
	父	サトウ ハジメ	タイ	60	タイ・バンコク	〇〇会社勤務	
	母	サトウ ハナコ	タイ	58	タイ・バンコク		
	兄弟姉妹	兄 サトウ ヒロシ	タイ	32	タイ・チェンマイ	▲〇大学講師	○
	伯父	サトウ タロウ	タイ	62	日本・大阪	□〇会社勤務	
	配偶者	サトウ ミチコ	タイ	25	日本・東京	○▲大学工学部 2 年	
	子供	サトウ アイ	タイ	1	日本・東京		
※配偶者が学生の場合は、記入必須。 ①大学・学部学科・研究科専攻()							
②課程(学部) ③学年(2 年) ④入学年月(2024 年 4 月) ⑤卒業予定年月(2028 年 3 月)							
経済状況	収入	仕送り	有・無			年額	円
		アルバイト等収入	仕事内容 リサーチアシスタント			月額	60,000 円
	配偶者の収入	勤務先(スーパーサトウ)・仕事内容(レジ)			月額	円	
		奨学金名称(〇〇奨学会)・受給期間(2025 年 10 月～ 2026 年 9 月)			月額	円	
住居	賃貸住宅・寮・その他()			一人住まい・(3)人住まい	自己負担月額	70,000 円	
奨学金	現在受給中		奨学金名称: 〇〇奨学財団				
			期間: 2025 年 10 月～ 2026 年 9 月	受給月額:		100,000 円	
	受給履歴	年	期間	奨学金名称			受給総額(年)
		2024 年	年 月～ 年 月				円
		2023 年	2024 年 4 月～ 2025 年 3 月	〇〇奨学財団			1200,000 円
2022 年		2023 年 4 月～ 2024 年 3 月	■▲奨学財団			600,000 円	
2021 年	年 月～ 年 月				円		
年間授業料	現在	授業料免除	・受けている(下記に記入) ・受けていない				
		免除期間	2026 年 4 月～ 2026 年 9 月				
		免除総額	上記期間中の総額を記入			535,800 円	
	2026 年 10 月 または 2027 年 4 月以降	円	授業料免除制度	・あり ・なし ・分からない			
		授業料免除申請	・申請する ・申請しない ・未定				
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に経済的支援を受けている場合は下欄に記入(自由記入)							
(例) 〇〇大学留学生助成金: 年額 54 万円							
教育リーディングプログラム教育研究費 616,000 円 (2026 年 4 月～2027 年 3 月)							
併願状況 (奨学金に類するもの全て)	申請先					結果発表月日	
	■〇財団					2026 年 10 月発表	
						年 月発表	
					年 月発表		

・ 国費外国人留学生を延長申請している場合も併願状況に記入すること。

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

—奨学金申請時の心得について—

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2026.04.01

1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

また、本学の推薦を経て採用された後に、他の奨学金への申請等を理由として辞退することは認められません。財団からの信頼を損なうのみならず、次年度以降の推薦枠の減少を招くなど、本学全体に不利益を及ぼす可能性があることを十分に自覚したうえで申請してください。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。